

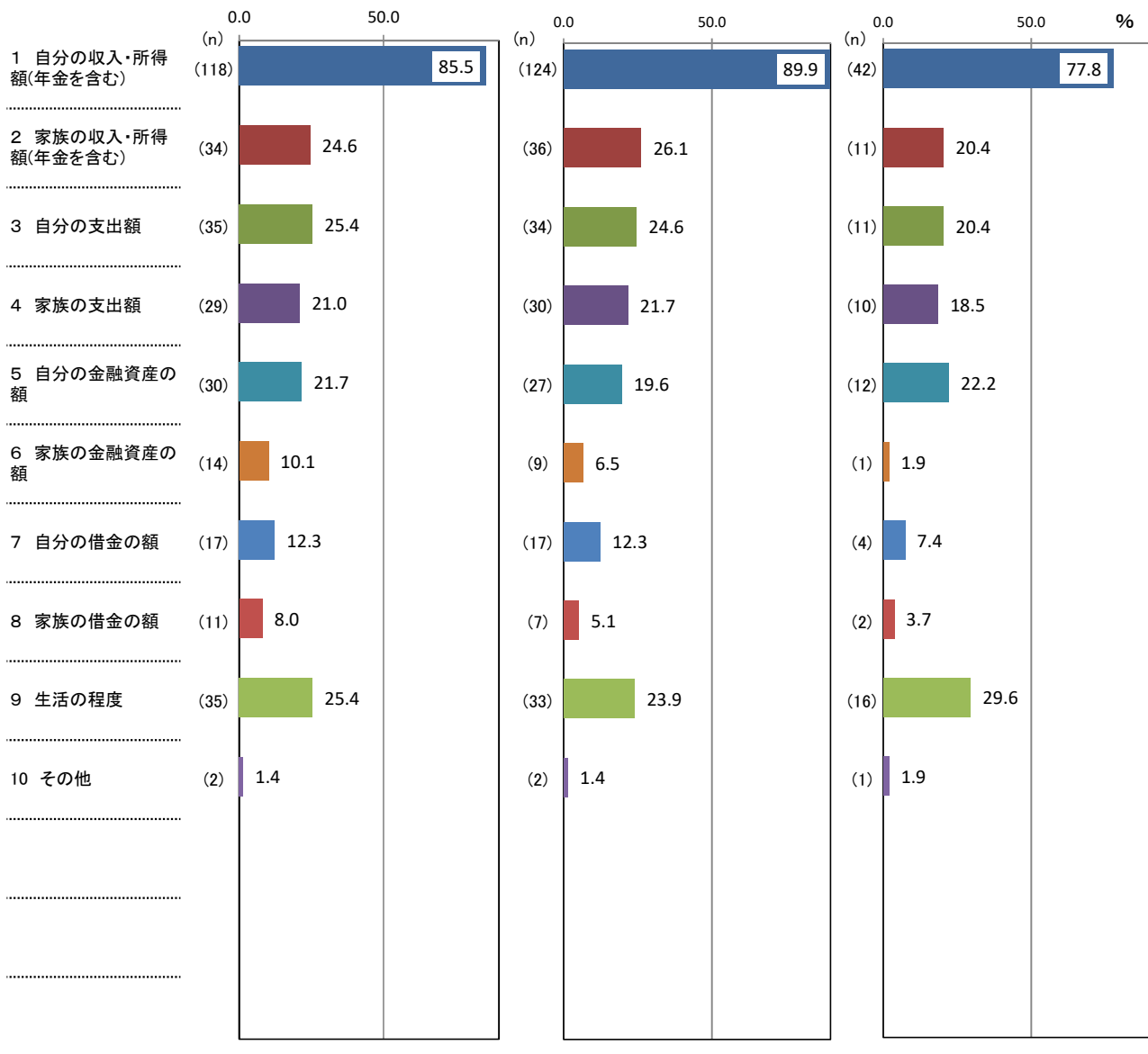
(1)分野別実感の変化別

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「必要な収入や所得」(H31-R4)(勤労属性に限る)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (325) 138 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (319) 138 人	③ 実感が低下した人 の回答 (110) 54 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (118)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (124)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (42)
2	3 自分の支出額 (35)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (36)	9 生活の程度 (16)
3	9 生活の程度 (35) 2位	3 自分の支出額 (34)	5 自分の金融資産の額 (12)

()内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】(勤労属性に限る)

(10)「必要な収入や所得」についての回答理由(問1-1(10)①「あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

(%)

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 実感が上昇した人		85.5	24.6	25.4	21.0	21.7	10.1	12.3	8.0	25.4	1.4
② 実感が横ばいの人		89.9	26.1	24.6	21.7	19.6	6.5	12.3	5.1	23.9	1.4
③ 実感が低下した人		77.8	20.4	20.4	18.5	22.2	1.9	7.4	3.7	29.6	1.9

(件)

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R4[2]は除く。 (サンプル数=138人)	325	118	34	35	29	30	14	17	11	35	2
② 実感が横ばいの人 (サンプル数=138人)	319	124	36	34	30	27	9	17	7	33	2
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R4[4]は除く。 (サンプル数=54人)	110	42	11	11	10	12	1	4	2	16	1